

番傘川柳本社 4月句会

日時 令和8年4月5日(日)
会場 たかつガーデン

出席 森 茂俊
西 美和子
記名清記.....稲葉 良 岩

季まきにすべてが清く生き生き輝く清明の候、上本町のここかしこに春の花がやわらかく揺れ、足元のぬくもりにも四月の澄んだ季節の風配を感じます。歩いていると春の風がそっと頬をなで、いちごのスイーツのおいしいころになったなと感じます。そんな春の光に包まれた四月五日の午後、あらためて「ここで会おうね」という小さな響きが、人の心

をそっと引き寄せてくれました。にぎやかさの奥に、やさしい静けさが息づくひととき。やっぱりいいですね、本社句会は、これからも川柳を大切にしながら、新しい出会いを重ね、若葉がひろがるこの季節のように、のびやかに広がっていく会でありたいと思います。これからもどうぞお気軽に、やわらかな風に誘われて本社句会へお越しください。

席題 それぞれ たむらあきし 選

アナリストリー名もない花に添ってみる
それぞれの門出に花の散りかかると
ランドセルの一つ一つにある希望
大谷は大嫌いだと変な人
同期会道はそれぞれ違ったが
花見する皆の笑顔も咲いている
それぞれの想い桜の中で咲く
子の巣立ちそれぞれ好きに生き安堵
決めつけないでヒトはそれぞれ生きる道
ムードメーカーとして理論派行動派
バイキング他人のトレイがうまく見え
母の癖人それぞれやうちほうち
生き方がみんな違っておもしろい

桑原すゞ代
菱木 誠
銭谷まさひろ
谷口 東風
岩田 明子
小寺八重子
阪本 秀子
山藤 聖子
柴田 桂子
瀬川 幸子
播本 英二
沼田 捷二
鈴木 栄子

化粧品おんなじなのになぜ違う
空に海それぞれが出すSOS
それぞれが正義をかざしホルムズへ
それぞれの不満を投げる目安箱
それぞれの味をひとつにする料理
孫三人同じ親とは思えない
それぞれに出会いと別れ春景色
勝手者人それぞれと主張する
それぞれに個性一人の意味が無い
小さな字で効かないこともあるサプリ
五つ星よりも冷食お気に入り
年齢を訊いていい人わるい人
来た道の違いが今日の顔になる
夫婦とて絵柄の違う皿で食う
それぞれの味が奏でる人生譜

岩田 明子
奥野健一郎
福島 りか
八木 幸彦
田中 新一
播本 英二
山藤 聖子
二谷 亮水
中岡千代美
山本さくら
澤田 仁志
山本さくら
稲葉 良岩
成山きよし
辻 肇

美女には野獣お多福にイケメン
帯襷どちらもおかんどないする
私にはわたししかない色がある
銅メダルの笑顔に銀メダルの涙
でも俺に惚れてくれる女はいない
皆んないっしょならつまらんじやないか
黒々とみな癖がある独裁者
お隣も真向かいさんまでも同居
豚も鯨も空は飛べないそんでええ
右の手も左の手にも顔がある
同床の夢はいつでもすれ違う
それぞれが光がして生きている

森 茂俊
植野 繁子
井本 健治
森 茂俊
島田 握夢
島田 握夢
高橋 裕樹
菱木 誠
原田 正士
稲山 常男
銭谷まさひろ
たむらあきし
田中 薫 選
山本さくら

宿題 とろける
いつ死んでもいい気にさせる花の下

花吹雪君に魔法をかけられて 瀬川 幸子

しがらみが湯の花になる露天風呂 銭谷まさひろ

見つめ合うだけで十分月朧ろ 島田 握夢

じんわりと苦言とろける胸の中 辻 肇

ブルースに抱かれてとろけそうになる 菱木 誠

林住期とろけるような恋ひとつ 山田 恭正

義理チョコですぐにとろけていく上司 八木 幸彦

うっとり和美男に出会う夢でした 山藤 聖子

数値良く輪が外れていちごパフェ 長井 喜隆

魅惑の花にとろけてしまうまだ男 田中美弥子

憂さみんなとろけるほどの笑みこぼれ 阪本 秀子

演出の妙味心とろけます 阪本 高士

とろけそうお替わりしたい恋の味 沼田 捷二

孫の目かとろける新しいシール 鈴木 栄子

じいちゃんが笑えば溶けてゆく空気が 桑原すゞ代

指が触れ一気にとろけだす予感 井本 健治

大トロの刺身君と杯酒よくまわる 小山恵美子

寝め言葉こってり盛ってとろけさす 奥野健一郎

煮ごりの中にとろける里の味 大西 将文

浮かれてたあの頃わたし沸点で 松田 礼子

甘言で人をとろかす特殊詐欺 辻 肇

渡せずにはボツケで溶けたチョコレート 森 廣子

とろけさす言葉に仕込む毒や針 稲山 常男

猫の目でみつめられたらとろけます 西 美和子

スイーツの魔法にかかるショーケース 田中 新一

妖艶な姿うっとり女形 西上 遊二

不意の帰郷母はとろけて喜んで 柴田 桂子

今日を忘れ明日を思わぬ酒を呑む 山本さくら

メロデーの甘美身心とろけそう 油谷 克己

久々の鰻料理に舌鼓 山藤 聖子

もう最高ご褒美チョコの舌触り 植野 繁子

ふたりだけの世界をそと耳もとで 阪本 高士

肉じゃがへ男の骨がとろけ出す 鈴木 栄子

瞳からとろけはじめる一目惚れ 高橋 裕樹

静けさにとろけのまれて風になる 稲山 常男

精一杯生きてとろける酒に酔う 田中 新一

そのやる気きつととろける五連休 高橋 裕樹

喧噪の街のノイズを溶く夕陽 原田 正士

ほろ酔うてうつらうつらの春炬燵 田中 薫

宿題 家 桑原すゞ代 選

家付きの娘のまま八十路です 植野 繁子

住み慣れた家で最後を迎えたい 奥野健一郎

わが家にはわが家のルールの椅子 柴田 桂子

真似たのはあち祖と家元譲らない 島田 握夢

姑と嫁がいますが春は来る 高橋 裕樹

まだ五欲終の棲家が決まらない 井本 健治

家でした学校でしたまた誤爆 高橋 裕樹

家放つぱり出して川柳バカになる 油谷 克己

縛られていたのは家という鎖 たむらあきこ

台所女系家族のものがたり 阪本 高士

高すぎて家も買えない其稼ぎ 鈴木 栄子

戻らないと思えと嫁に出す 正信寺尚邦

ツバメの家族皆で見守るやさしい瞳 原田 正士

ひとつ屋根ゆずり合うたび強くなる 稲葉 良岩

あきません家事見習いの太い指 銭谷まさひろ

少子化のせい家家系図やせ細る 辻 肇

寿命だと次々家電泣かしよる 西 美和子

三界に家なし今は男にも 大堀 正明

どの家も悩み抱える窓明かり 瀬川 幸子

一部屋は和室瞑想用にある 物種 唯修

君と住みたい狭いながらもマイホーム 二谷 亮水

飲み代で家を一軒買えたかも 山本さくら

ボロ家だけどコーヒー飲みに来ませんか 植野 繁子

トランプの家での顔を見てみたい 萩野 浩子

終活するには重い負の遺産 山本さくら

終電車帰る家ある人ばかり 山田 恭正

家庭内別居するには狭い家 稲山 常男

ある意味で檻かも知れぬマイホーム 片岡 加代

夕焼けこやけやっぱり家へ帰るかな 林 ともこ

ふっと目が覚めて夫が居ない家 田中 新一

虚しさを引き裂くように独り住む

懸命に走る家まで泣くもんか 岩田 明子

家がある皆んな帰ってくればいい 柴田 桂子

表札の無いのがきつと魔女の家 片岡 加代

こんなキレイな手に家事はさせません 中岡千代美

リースバッグしてます住み慣れたわが家 荻野 浩子

鬼瓦わしもロコモア欲しくなる 三好 聖水

小さな反乱スヌーピーと家を出る 中岡千代美

地球がひとつの家だといいな空の下 中岡千代美

目覚めればみなよその人ケアハウス 桑原すゞ代

宿題 無邪気 阪本 高士 選

駄菓子屋に今も無邪気な花が咲く 大西 将文

議事堂で無邪気に大人騒いでる 播本 英二

無邪気さの尻尾に潜むエゴイスト 植野 繁子

無邪気にも信じています民主主義 菱木 誠

邪気の無さが古いにストップかけている 松本 柁子

百面相してる赤ちゃんの無邪気 荻野 浩子

泥まみれの無邪気な笑顔宝物 黒田るみ子

母はもう子供返りの少女です 柴田 桂子

無邪気すぎて心配をされてます 西 美和子

デゲームとても無邪気な子供部屋 西 美和子

百歳の無邪気な笑顔待っている 湯澤 孝扇

おとなの事情を察して欲しい無邪気 中岡千代美

駄菓子屋の星は無邪気なおばあちゃん 穂山 常男

悪役の可愛い笑顔魅力的 小寺八重子

父も母も星になったと信じてる 山本さくら

無邪気に笑う戦術を持つ女 下村 郁子

たった五輪開花したただけ大騒ぎ 西上 遊二

好きだよと言ったらすぐに顔いた 岩田 明子

何事も忘れちゃうのに笑ってる 松田 礼子

剣よりも無邪気な笑みが胸を刺す 鈴木 栄子

ヘルパーが来ると無邪気に笑う父 長井 喜隆

フルーツパフェを指し午後のウォーキング 森 茂俊

素うどんの無邪気へ粋なトッピング 大西 将文

少し泣き無邪気な笑顔取り戻す 森 廣子

好きな子の影を踏んでた春でした 稲葉 良岩

先生が言うてはったと譲らない 島田 握夢

いつまでも白馬の王子待つ娘 西上 遊二

千年の孤独に連れ歩く無邪気 阪本きりり

あまりにも無邪気タジタジしています 中岡千代美

留守の家タダイマだけが元気です 稲葉 良岩

ポケットの夢を信じているらしい 柴田 桂子

サムライを無邪気にさせるねこじらし 片岡 加代

駄菓子屋に無邪気な昭和並んでる 穂山 常男

笑い仏に愚痴をこぼしている無邪気 荻野 浩子

しっかり見えています無邪気なふりを 大堀 正明

よこしまなところは何も無い鬼だ 阪本きりり

訳ありの花も無邪気に散ってゆく 銭谷まさひろ

天真爛漫なコトバで刺してくる 中岡千代美

三原色無邪気に混ぜる怖い手だ 片岡 加代

もののけが友達ですという無邪気 阪本 高士

宿題 新 黒田るみ子 選

松下村塾からニッポンの夜明け 正信寺尚邦

教科書に記名していく新学期 下岡 昌美

新しいページめくっている期待 田中 新一

花は舞い新人生の跳ねる路 銭谷まさひろ

新作の夢を描いてしまう春 高橋 裕樹

新婚の頃はオアシスだったのに 中岡千代美

先住の座敷わらしがいる新居 高橋 裕樹

ヤングケラー時代が産んだ新の闇 桑原すゞ代

まだ髷の結えぬ大卒新入幕 奥野健一郎

頬赤く新人ナースの国訛り 成山きよし

新装のカフェから花見しています 小川賀世子

新しく開けた夢に託す明日 湯澤 孝扇

新緑の山で命の丸洗い 鈴木 栄子

還暦を過ぎた新人類世代 山田 恭正

新顔の出現うかうかしてられぬ 油谷 克己

新郎が来ないざわざわ控えの間 田中 利一

旅三日まだ発見がある二人 松本 柁子

鮮やかな新札そろえてる祝事 阪本きりり

新葉に寄せる期待と不安感 八木 幸彦

新葉が欲しい時間が足りませぬ
 旬ですな夢をいっぱい持っている
 輸送船戦争避けて新ルート
 新人がチームカラーを塗り替える
 新品のスーツ元気に夢かたる
 春だものちよっぴり自分リニューアル
 新人の頃にはあった志
 まっさらな朝に一粒種を撒く
 新しいことにワクワクまだ若い
 新しい風と男は行ったきり
 使わない機能が多い新家電
 新メニュー失敗作でございます
 解禁日釣ったアマゴと新酒酌む
 爆発をしますます新しい出逢い
 風へのりどつと生まれた新議員
 颯爽と目を輝かすニューフェイス
 悪い事ばかりじゃないと新芽出る
 グッバイを新しい日にすればよい
 なみだ枯れ果ててわたしをリニューアル
 今日生きて人間みんな新記録
 ゆずり葉のごと母の目線で包みこむ
 独りからふたりへ新しい孤独
 新しい足跡月に付けたいな

桑原すゞ代
 阪本 高士
 小上 元武
 奥野健一郎
 小寺八重子
 辻 肇
 鈴木 栄子
 原田 正士
 植野 繁子
 片岡 加代
 山本さくら
 西 美和子
 田中美弥子
 荻野 浩子
 西上 遊二
 田中 新一
 長井 喜隆
 菱木 誠
 田中美弥子
 田中 薫
 柴田 桂子
 たむしあきこ
 黒田るみ子

宿題 老人 片岡 加代 選

トランプはちよつと危険な老人だ
 他人から呼ばれたくないおばあちゃん
 ときめいて老いる暇ないしほまない
 老い猫とひねもすのたり日向ぼこ
 老人の孤独の染みている座椅子
 エアコンは十年保証されてるが
 憧れはあこがれのまま老いました
 経験がもの言う老いの知恵袋
 うす紅の老人会の淡い恋
 老いの知恵AIさえもかしこまる
 耐震補強しあって暮らす老夫婦
 さくら満開老いの恋にもドーパミン
 じゅうたんのへりですまづく気がつけや
 爺ちゃんばんだん子ども返りする
 町医者の方労者です高齢者
 訃報欄まず享年を見る老い
 敬老が広辞苑から消える日も
 自分を叱るのは自分しかいない
 不老不死ばかりのうるわしい都
 老人とは無礼古希はまだ熟女
 いつからか僕も老人枠の中
 八〇二〇たった一つの宝物

岩田 明子
 松田 礼子
 物種 唯修
 奥野健一郎
 下岡 昌美
 正信寺尚邦
 奥野健一郎
 銭谷まさひろ
 山田 恭正
 たむらあきこ
 大西 将文
 森 廣子
 二谷 亮水
 阪本 高士
 瀬川 幸子
 成山きよし
 森 茂俊
 銭谷まさひろ
 辻 肇
 阪本 高士
 三好 聖水
 森 茂俊
 片岡 加代

指舐めてお札数える癖がある
 老人パス貰えば急に忙しい
 新米の老人ですと団塊が
 モトカレもいい爺ちゃんて元氣かな
 宴会で青い山脈歌い出す
 年寄りからかう針の穴と糸
 年の功手の抜きどころお手のもの
 老いてなお生命線が跳ねている
 丸くはなれぬが丸いように見せる
 語り口昭和のにおいしてならぬ
 人間の卒業式へ老いの坂
 ロボットより老人の手は温かい
 お前らも歳取るんだと言ってたな
 ケンカ売る老人がいて原油高
 暴走老人大統領という悲劇
 老いたとてほのかにゆれる相聞歌
 年老いた星が消えゆく北の空
 老いてこそ酒もわたしも味が出る
 意地悪な老人だけはなりたくない
 さくらが咲いている老人の時計
 本人は今老人と思てない
 老木が今年も咲いた散歩道
 敬老パスポッケに今日はどこ行こう